

〈音楽科〉 2年

現在の分析(音楽への関心・意欲・態度)

- 新しい歌や曲に対して積極的に取り組もうとする様子がみられる。様々な音楽活動に生き生きと意欲的に参加している。

〈音楽表現の創意工夫〉

- 歌いながら手拍子を打ったり身振りをしたりし、身体表現を通して曲のリズムや気分を感じとつて表現している。

〈音楽表現の技能〉

- 曲の全体像をとらえ、旋律を覚えて歌うことができる。
- 鍵盤ハーモニカに親しみ、5指で演奏できる音域を広げている。

〈鑑賞の能力〉

- 音楽を聴くと自然に体を動かしたり、旋律を口ずさんだりしている。曲にあった身体表現をしながら、場面を思い浮かべることができる。

重点課題

〈音楽への関心・意欲・態度〉

- 音楽活動の楽しさを味わうことを引き続き継続するのが課題である。

〈音楽表現の創意工夫〉

- 声の出し方、曲の速度、強弱の工夫などを学習し、音楽の特徴を感じ取って表現を工夫することが課題である。

〈音楽表現の技能〉

- 拍の流れに沿ってリズムによく表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付けるのが課題である。
- 鍵盤ハーモニカの演奏では指跨ぎや指くぐりなどの指使いを意識して演奏する技能を身につけることが課題である。

〈鑑賞の能力〉

- 音に関心をもって聴いたり演奏したりして音色に対する感覚を育てるのが課題である。

授業改善策

〈音楽への関心・意欲・態度〉

- 音楽活動の楽しさに気付いて、進んで表現しようとする意欲をさらに高めるようにする。
- 友だちと一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるような場の設定や学習教材の工夫をする。

〈音楽表現の創意工夫〉

- 音楽を聴いたり歌ったりして、拍の流れを感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようとする。
- 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようとする。

〈音楽表現の技能〉

- 体でリズムを感じ取り、拍の流れに乗って身体表現をしたり簡単なリズムフレーズをつくったりすることができるようとする。
- 友だちの歌声を聴きながら歌ったり、互いの声を聴きながら歌声を合わせようとしたりする習慣を身に付け、発音や声の出し方に関心をもって歌うことに慣れるようとする。
- 鍵盤ハーモニカで運指に気をつけながら旋律を演奏して楽しむことができるようとする。

〈鑑賞の能力〉

- 表情豊かに表現したり想像力を広げながら鑑賞したりする体験を積み重ねる。
- 様子を思い浮かべ、絵を描くなどしてイメージを広げながら歌い方を工夫したり音楽を聴いたりする能力を伸ばす。